

第1回千代田区公共施設等総合管理方針改定に向けた庁内検討会 議事概要

開催日時	令和5年8月25日(金) 14:00~16:00
開催場所	千代田区役所6階 601 会議室
出席者	<p>【会長、副会長】古田財産管理担当部長(会長)、小林区有施設担当課長(副会長)</p> <p>【委員】赤海子ども施設課長、平岡環境まちづくり総務課長、神原道路公園課長、前田景観・都市計画課長、緒方住宅課長、夏目企画課長、佐藤施設経営課長</p> <p>【アドバイザー】東洋大学 PPP 研究センター客員研究員 南学 氏</p> <p>【事務局】政策経営部施設経営課</p>
主な議題	<ul style="list-style-type: none"> ・千代田区公共施設等総合管理方針の改定に向けた全体スケジュール ・現状の方針等と改定後の内容との関係 ・改定の方向性
議事概要	<p>【スケジュールについて】</p> <p>○年度明けからパブリックコメントを行えるよう、年度末に向けて改定案作成に取り組む。作成にあたっては、施設状況の把握や課題の整理を行い、区政モニターアンケートや素案の意見聴取も検討する。</p> <p>【方針改定の方向性】</p> <p>○既存の公有財産白書(H26)や公共施設整備の基本的な考え方(R4)等を取り込み、公共施設に関する区の方針・計画として整理する。</p> <p>○成果物は、「公共施設等総合管理計画」、「個別施設一覧(個別施設計画相当)」の2種類。個別施設一覧におけるデータは、毎年更新していく。</p> <p>○財政制約ラインを設ける必要があるかも確認していく。</p> <p>【アドバイザーからの意見】</p> <p>○全国的に見れば、自治体の公共施設マネジメントは、財政的制約から、既存施設の長寿命化と多機能化、複合化を検討せざるをえなかった。千代田区は、そうした全国的な前提等がそのままあてはまるものではないが、時代の変化に合わせて計画を改定し、把握すべきデータを毎年更新していくことは問題ないと思う。</p> <p>○首都・東京の中心という地域特性を踏まえて、区の施設のあり方を検討していくと良いのでは。多様な志向や生活スタイルがあるだろうし、公共施設に対する思いも、世代で変化があるのでは。</p> <p>○学校は地域の核であることからどう位置付けるかが重要。</p> <p>○公共施設における住宅のあり方は、20年、30年先も見据えて検討する必要がある。</p> <p>○他自治体では、人口推計シミュレーションを踏まえたサービスの供給期間を検討し、その供給期間に相応しいハードのつくり方について検討しているところもある。</p> <p>【その他】</p> <p>○各施設に関わる区全体の計画となるため、他の部からの参加も検討した方が良い。</p>